

国際ロータリー第2500地区第6分區

# 帯広東ロータリークラブ会報



ROTARY:  
MAKING A  
DIFFERENCE

2017-2018年度  
帯広東ロータリークラブ

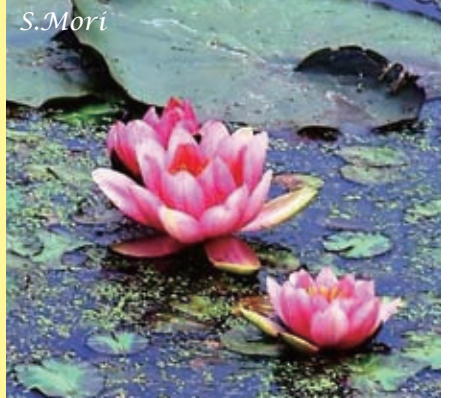
会長 石川 博機  
幹事 古川 直也  
メディア委員長 高田 進

## 「継続」

### 第1584回例会

平成29年9月26日(火) 於 ホテル日航ノースランド帯広

■創立: 1984年6月15日 ■認証: 1984年6月18日 ■例会: 毎週火曜日 12:30~13:30  
■事務局: 帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F Tel.0155-25-7347 ■会場: ホテル日航ノースランド帯広



## 2017-2018年度 国際ロータリーテーマ 【ロータリー:変化をもたらす】

2017-2018年度国際ロータリー会長  
イアン H.S. ライズリー

## ガバナーテーマ 【今こそ行動を!】 国際ロータリー第2500地区ガバナー 成瀬 則之

## 月間テーマ 【基本的教育と識字率向上月間】 【ロータリーの友月間】

- ◎起立 西田重人 副SAA
- ◎友情の握手 西田重人 副SAA
- ◎点鐘 板倉利男 副会長
- ◎開会宣言 西田重人 副SAA
- ◎国歌斉唱 西田重人 副SAA
- ◎ロータリーソング 「それでこそロータリー」
- ◎ゲスト紹介 板倉利男 副会長  
ライラセミナー参加者

- 東洋印刷(株) 竹原将太 様
- 東洋印刷(株) 金生柗太 様
- 米山記念奨学生 潘 志飛 様

◎会食

### 会長挨拶 板倉利男 副会長



皆さんこんにちは。まず最初に石川会長の状況報告をさせていただきます。元気にしておりまして、もうちょっとというところで、お前いつまでやるのだといわれそうなのですが、病気が治らない限り私はここ立ちますので、嫌がらな

いで頂きたいと思うのですが……。

おかげさまで帯広秋季例大祭が23日~25日無事に終わりました。帯広神社の祭りというのは、必ず雨がつきものでありまして、23日宵宮祭のときには降ったのでありますけど朝方に上がったということで、2日間は本当にいい天気十勝晴れの中で無事終わりました。私も2日間

バスに付いて歩きました、癌をやってから退院しましてゴルフはやっておるのですが、1ランド歩くというには自信がありませんでカートに乗ってやっておりますが、こちら辺で少しためして見てみないといかんということで歩きましたが、その前にやまべ釣りをやっております、私の師匠は今はいませんが北クラブにおられまして、ご存じの方が多いかと思えます齊藤明男さん今年88歳になるのですが、この人と行くときは竿を下ろして帰ろうかという頃には、軽く4~5時間は歩いておりますから、それはリハビリということでアスファルトの上の方が大変なんですけど、歩く事が出来ました。

皆さんも何かかれか趣味をもたれて、新しいものに挑戦することを心掛けたいかがでしょうか。橋田壽賀子はもう90歳を超えていますけど、彼女は新しいものに挑戦しなくなった時に、老いるといっております。どうぞ皆さんも健康に気を付けて頂いて、いろんな方面で趣味を広げて仲間を作り、豊かな人生を送って頂ければと思います。以上です。ありがとうございました。

### 会務報告 古川直也 幹事

#### ◎RI第2500地区大会(網走)開催のご案内

日時:平成29年10月6日(金)~10月7日(土)

場所:網走市民会館

《大会2日目(7土)》

- 登録受付 8:30~ 網走市民会館
- 本会議(午前の部) 9:00~12:00 網走市民会館
- 本会議(午後の部) 13:00~17:30 網走市民会館
- 大会記念大懇親会 18:00~19:30 網走セントラルホテル

#### ◎帯広東RC、移動例会(職場訪問)開催のご案内

日時:平成29年10月17日(火)午前10時30分

場所:明治乳業十勝工場

(明治なるほどファクトリー十勝)

◎来年の国際大会はカナダのトロントということで、トロント国際大会が来年の6月23日~27日まで開催されるという案内が来ております。

### 委員会報告 職業奉仕委員会 加藤武志 委員長

皆さまこんにちは。ただいまの幹事の会務報告と重複いたしますが、お話がありましたが10月17日火曜日10時30分集合で、明治なるほどファクトリー十勝ということで、すでに皆さま何回もいっていただける方もおられるか

と思いますが、明治の十勝工場は日本最大級のナチュラルチーズの工場ということでありまして、ここでいろいろと工場の見学を予定しておりますので、皆さま方にも先週お願いしておりますけど、どうぞ重ねてお願い申し上げます。以上であります。よろしくお願いいたします。



## ニコニコ献金

親睦活動委員会 及川武一 委員

- **板倉副会長** 秋季例大祭が無事終わりました。
- **古川幹事** 昨日、皆様にご心配されている石川会長のところに行ってきました。いたって元気でした。ご安心下さい。まだ、痛い様ですので、お見舞いは木曜日以降がよろしいかと思っております。
- **曾根会員** 孫が5才になりだんだん言うことをきかなくなってきました。いつまで遊んでくれるかな？
- **宮前会員** 釧路信金さんのゴルフコンペで優勝しました。ネット72.8でした、グロスは忘れしました。
- **角会員** 本日プログラムは青少年奉仕・ローターアクト委員会の担当となります。よろしくお願いいたします。
- **及川会員** ひさしぶりの例会です。北海道のみじかい夏がおわりさみしいです。



## プログラム

青少年奉仕・ローターアクト委員会

### 【ライラ報告会】

### テーマ：【日本のてっぺん(稚内)から 地域未来の環境を考える！】

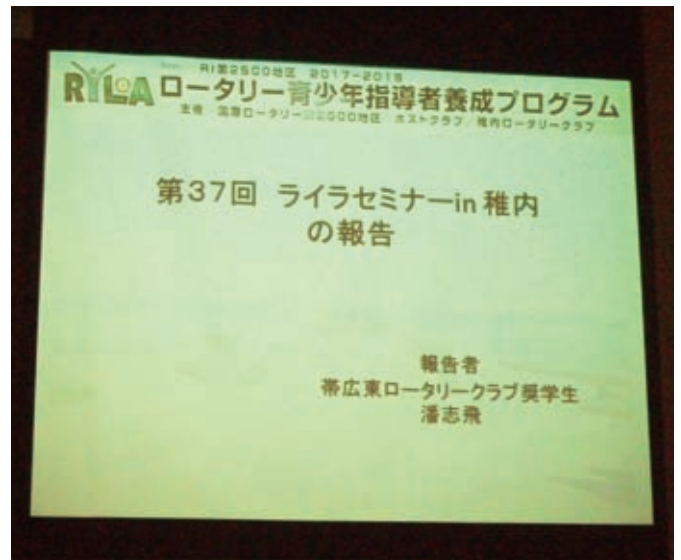
米山記念奨学生 潘 志飛 様

それでは第37回稚内ライラセミナーで、勉強したこととか感じたことを簡単ですが発表させていただきます。

9月1日金曜日から帯広ロータリークラブの皆さまと一緒に出発をして、朝10時半に出発して夜の6時半に到着し8時間もかかりました。凄く疲れたのですが、でもこの2日間はとても勉強になりました。お昼の食事は富良野でオムカレーを食べました。次の日は開講式で皆会場についたらそれぞれ分かれて私は9番目のグループでした。2500地区稚内ロータリークラブの会長、稚内市長それぞれ挨拶して開講式は終わりました。

開講式が終わったら市内視察を見に行きました。いろんなエネルギー利用の施設を見ました、稚内風力発電所とか、稚内メガソーラー発電所、いもを熟成させることに成功した自然冷熱利用貯蔵庫も見まして、凄く勉強になりました。

市内の視察を終わったら会場に戻ってきて、「私の見た南極～みんなに出来ること～」という講演を聞きました、発表者は第52次日本南極地域観測隊員稚内市の職員の市



川さんでした。

内容は南極昭和基地で暮らす観測隊員の仕事や生活の様子を紹介しました。

講演が終わったら、市内視察と講演について見えてきた地球環境の変化さらに、その変化にどう対応するのかをグループでディスカッションしました。その日は皆ディスカッションとかで遅くまでしてました。

最後の日は、朝会場に来たら感想文を執筆しました。まとめの結果をグループで発表しました。最後は2500地区の方から修了証書を授与されました。

今回のライラセミナーで感じたことは、異常気象環境問題は皆それぞれ責任があるかなと思います。これからの生活のためにも子供の未来のためにも、環境保護はひとり一人を考えなければいけないことだと思います。環境保護について個人的に出来ることは、ゴミの分別をすとか節水とかエコバッグを使うとか公共交通機関を使用するなど、CO<sub>2</sub>を削減する方法がいろいろあると思います。それによってひとり一人が意識をして行動することで、周囲に影響を与え環境問題など身近に感じる地域作りだと思います。

以上稚内で勉強したことなのですが、最後の解散の時皆と一緒に稚内で食べた物なのですが、海鮮丼とウニ丼初めてウニ丼食べたのですがとても美味しかったです。それと稚内の風景はとても綺麗だったのです。

以上で発表を終わります。ありがとうございました。

東洋印刷(株) 竹原将太 様

東洋印刷の竹原将太と申します。

私は、9月2日・3日の2日間に稚内のサンホテルで開催された第37回ライラセミナーに参加させていただき、日本のてっぺん(稚内)から地域未来の『環境』を考えるというテーマで、市内視察や基調講演、グループディスカッションを行ってまいりました。

1日目は市内の視察として、稚内メガソーラー発電所と稚内風力発電、自然冷熱利用貯蔵庫に訪問しました。

稚内メガソーラー発電所では、東京ドーム3個分の敷





地に28,498枚のソーラーパネルがNEDOの実証事業として設置されているとのことでした。

一般的に、ソーラーパネルは日照時間や土地の条件が整っている場所に設置されるということですが、稚内は、設置候補地の中で、日照時間などの条件が最も悪い環境下にあったそうです。稚内市への設置に至った背景には、稚内で、ある程度の成果を上げることができれば、他の地域でも同程度以上の効果が見込めるだろうということから設置に至ったそうです。ソーラーパネルでは、発電量を増やすための工夫がされており、冬には、パネルの角度を変えることによって雪を落としたり、周辺にホタテの貝殻を敷き詰めることで、反射光も吸収できるようにしているとのことでした。

次に稚内の風力発電です。稚内の年中強風が吹くという地域特性を生かして、建設されており、作られた電気エネルギーは市民の水道水を担う浄水場の電力源に利用され、余った電力は北海道電力に売電することにより、市民が安価に水道水を受容できる環境になっているとのことでした。

最後に視察した場所が、自然冷熱使用貯蔵庫です。

12月～3月の冬に自然冷熱のみで、貯蔵庫内の水槽の水を凍らせて、その氷を冷熱源として、4月～9月迄、 $-1^{\circ}\text{C}$ ～ $+5^{\circ}\text{C}$ の温度環境を保持するシステムで、

稚内市では、この貯蔵庫を利用して、農作物の低温貯蔵を行っており、ここで貯蔵される農作物の甘さや旨みがより高くなるということでした。

このように、3つの再生可能エネルギー施設を

視察後、稚内市環境水道部環境エネルギー課主査の市川様から日本南極地域観測隊員として派遣されたときの経験談から、「私の見た南極～みんなに出来ること～」というテーマでご講演をいただきました。お話の冒頭、南極についての紹介があり、南極は世界第5の大陸で、日本の約37倍の規模を持つとされており、100年前に初めて南極点への探検が行われたそうです。また、日本は、南極の東オングル島にある昭和基地という場所で観測や調査をおこなっており、その生活は、自分たちの寝泊りする個別のお部屋、トイレやお風呂の他に、長期間滞在するということから、散髪室、野菜の栽培室などもあり、



基地自体は想像していたよりも快適という印象でした。しかし、基地の原動力となっている動力室は水や電気を統括しており、その場所がなくなったら死につながるということで、いつも恐怖と隣り合わせだとおっしゃっていました。

一方で、市川様は環境問題にも触れ、オゾン層の破壊によって10年前よりも地球の海水温度が $2^{\circ}\text{C}$ 上昇しているという現状、それに伴って、2080年には、82センチ海面が上昇するだろうという環境問題への危機感についてもお話しいただきました。

次に一日目の締めくくりとして、市内での視察や講演会を受けたうえで、8人のメンバーと4人のアドバイザーとともに、環境に対して、私たちに出来ることについてグループディスカッションを行いました。

環境における課題を抽出する際、ブレン・ストーミングを使って、課題を出し合い、KJ法という方式によって、挙がった課題に対して関連性を見つけ、グループ化しました。

その後、グループ化した課題の中から、私たちの班は、「ごみの問題」について取り上げることに決め、現状考えられるゴミの投棄を挙げました。次に、なぜゴミを投棄する人がいるのか、ゴミを投棄することによってどんな人に影響を与えるのかなどを、メンバーそれぞれの地元の状況も踏まえて、話し合いました。結論として私たちは、地域全体でゴミの投棄の現状を知ることが、自らの住む地域に危機感を持つことにつながるのではないかと考えました。札幌で、花火大会後に行われる「日本一楽しいゴミ拾い」というイベントを例にとり、地域の方がより参加しやすい形でゴミ拾いを体験し、ゴミ投棄の現状を知ってもらえるイベント開催を提案しました。

2日間の最後には、それぞれの班が考えた環境問題への取り組みについて発表し、セミナーを締めくくりました。

全体を通して、今回のライラセミナーは環境というもの、市内視察によって「見る」ということと、講演会によって「聞く」ということと、グループディスカッションによって「話し合い考える」という3つの体験をすることができました。一泊二日という短い期間でしたが、とて

も充実した時間であったとともに、普段では関わる事ができないような他の地域の研修生との交流も図ることができました。また、環境問題についてこれほど向き合って考えることは普段ではあまりないことなので、その面でも、良い機会になりました。

今回のセミナーでは、稚内が舞台だったということもあったので、稚内の環境問題がメインでしたが、今後は私の住む帯広十勝地方の環境問題についても、同様に考えること、

そして、私たちだけでなく、十勝管内で将来の地域を担う若者が、意見を出すこと、そのような場の機会を増やすことが非常に大切であると感じました。

以上でライラセミナーの報告とさせていただきます。ありがとうございました。

東洋印刷(株) 金生柁太 様

みなさんこんにちは、東洋印刷株式会社 金生柁太と申します。お金が生まれると書いて金生と読みます。お名前だけでも覚えてくださると幸いです。



では、さっそく本題に入っていきます。今回私たちが参加させていただいたライラセミナーのテーマが「日本のてっぺん(稚内)から地域未来の環境を考える!」というものでした。このセミナーのお話を頂いた時は正直申しますと、環境のことなどお恥ずかしい話、まったくと言っていいほど考えたことはありませんでした。しかし、今回のセミナーを通じて今の地球全体の環境について、そしてどういった取り組みをしないといけないか、なぜその取り組みが必要なのか、様々な視点から考えさせられ、自分の環境に対する考え方は少しばかりではありますが、ゴミの分別、電気の無駄遣いなどあたり前のことから意識して取り組むようになったため、変化があったというように見受けられます。

なぜ、私の考え方が変わったのか、いくつかの要因があげられます。

まず、グループに別れ行われた、「私たちが目指す未来の地域」についてのグループディスカッションでした。ここでは、様々な意見や考え方が混在し自分では思い付くことのない考え方や意見があり、より一層環境に対する自分の認識が甘かったんだなと感じました。はじめは、新たな発電方法を探さなければ、政府が予算を多くするなど私達ではどうすることもできないような大きな変化の意見が多く出ていましたが、これでは現実的ではないという意見が多数あったため、我々が普段できることにしようというようにまとまりました。先程申し上げましたゴミの分別や電気の無駄遣い、こういった身近なことが大切だというように私どものグループではまとまりました。この身近な取り組みは確かに一人では変わらないだろうと前までは思っていたのですが、塵も積もれば山となるということわざがあるように、少しずつ地球全体の人がこういった取り組みを行えば、大きな成果に直結するのではないかとこのような考え方にこのグループディ

スカッションを通じて変わりました。

今回のセミナーで一番私が心に残ったと言いますか、考えに変化をもたらした要因は日本南極地域観測隊員として南極大陸に行かれた市川正和(いちかわまさかず)様の講演でした。実際に環境問題の最前線でその身をもって体験したからこそ出る説得力のあるお話にはただただ聞く耳をたてて真剣にお話をうかがっておりました。このまま環境について何も考えずに今まで通りに過ごせば、2100年には海面の水位は+82cm札幌もう海となってしまいます。北海道は機能不全に陥ると考えられます。こういったことが起こるとというのがデータで出ているので対策を行っていく必要があります。それが先程から何度も申し上げておりますように私たちができるゴミの分別や電気の無駄遣いなどの小さな行いです。

こういった小さな行いで、札幌などを救えるかと考えるとみな様どうでしょうか?ほとんどの方がやってらっしゃるかと思いますが、今日からでもゴミの分別や電気の無駄遣い、あるいは車の排気ガスを少なくするなどの取り組みぜひ行ってください。

それと今回のセミナーの開催地が稚内。その意義を市内視察で感じる事ができました。稚内は一度部活の関係で訪れたただけでした。しかし、その一度だけ訪れただけで1つの強烈なイメージができました。それは「風」です。いい方向のイメージではなく悪い方です。初日の市内視察で風車を見ることがありました。数多くの風車が市内で動いており発電の役割を果たしていました。稚内市のデメリットと申しますか弱点でもあると考えられる「風」を発電に生かして強みに変える。今後いろいろな地域で模範となるような取り組みだと感じました。風力があるということで「波力」での発電など稚内ではまだまだ可能性があるなと感じました。

こういったように今回のセミナーを通じて環境に対する考え方が変わりもっと自発的に行動しなければいけないと考え方が変わりました。

その他今回のセミナーの初めに実行委員会の方がいろいろな職種の方と関わり、多様なネットワークを作っておっしゃっていました。その言葉の通りグループディスカッションや市内視察などを通じて様々な職種の方のお話を聞いて、人間関係においても大きな収穫となったのではないかなと感じました。このようなセミナーに参加させていただき誠にありがとうございました。以上で私の報告を終わります。ご清聴ありがとうございました。

◎閉会宣言

西田重人 副SAA

◎点 鐘

坂倉利男 副会長

次回プログラム予定

会員増強・ロータリー情報委員会

10月3日(火)「クラブフォーラム」

【ロータリーに関してのクラブフォーラム】